

別表

審査基準表

1 審査方法

企画提案書を通じて、業務実績、業務実施体制、作業スケジュール、専門的知識・能力、企画提案力、見積価格を総合評価し、選定委員会における各委員の評価点を合計した結果、最高得点を得た業者を優先交渉権者として決定する。

また、参加者が1者の場合、委員の合計点数の平均が最低基準点120点（200点×6割）以上となったとき、その参加者を優先交渉権者として決定する。

2 評価基準

提案された企画提案は、次の項目より評価を行う。

| 評価項目 | | 評価基準 | 配点 |
|------|----------------|---|----|
| 1 | 提案企業に関する事 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 一般病床500床以上の病院でSPD業務契約実績があるか。 ○ また、同等規模以上の病院での受託実績が十分にあり、豊富な経験を有しているか。 | 20 |
| 2 | 運営体制に関する事 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務責任者及び作業責任者は、業務目的の達成に必要な経験を有しているか。知識と経験を持った作業員が、配置されているか。 ○ 適切な人員体制が確保されているか。人員不足の可能性はないか。 ○ コンプライアンスに対する取組が積極的に行われており、チェック体制が確立されているか。 ○ 休日、夜間及び緊急事態の物流供給体制が確立しており、病院業務に支障を来さないものとなっているか。 ○ 安定的かつ迅速な物流供給体制が確立されているか。 ○ 業務開始日（令和5年10月1日）までに問題なく稼働できるか。 ○ 不具合や問題が生じた場合等の病院から改善要求に対して、迅速に対応できる体制となっているか。 | 20 |
| 3 | 見積金額に関する事 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 積算根拠が明確であり、提案内容に対し適切であるか。 ○ 見積金額が安価であるか。 | 30 |
| 4 | 診療材料等調達業務に関する事 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 発注、納品、検品、支払い等の調達フローが明確に示されており、計画性・実効性のある提案となっているか。 ○ 経済性の観点とともに、安全かつ安定的な医療の提供に資する提案となっているか。 ○ 各部署から緊急の調達要請があった場合、対応可能か。 ○ 調達手続及び価格交渉は、公正かつ公平に行うものとなっているか。 ○ 受託者の仕入価格・業者が開示される等、透明性が確保されており、委託者が価格の妥当性を判断できるものとなっているか。 | 20 |

| 評価項目 | 評価基準 | 配点 |
|------------------------------|--|-----|
| 5 経費削減業務に関する こと | <ul style="list-style-type: none"> ○ 委託コスト以上の経済的メリットが生じる提案となっているか。 ○ 消化払い方式での対応が可能であり、死蔵在庫の発生を最小限に抑えられる提案となっているか。 ○ 豊富な価格交渉ノウハウと高い価格交渉力を有しているか。（最新の市場・業界の動向等を活用した価格交渉等） ○ 価格交渉の経緯と結果を速やかに委託者に報告できるか。（調達及び価格交渉が適正に行われるか確認できるか。） ○ 診療材料の保険請求漏れ防止対策の提言がなされているか。 ○ より安価で同等以上の機能を有する診療材料への切替え等について、受託者の専門知識を活用した切替え提案が可能か。 ○ 試薬や医療機器等、診療材料以外の物品も含めて経費削減の提案が可能か。 | 40 |
| 6 診療材料等 管理業務に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 預託品・定数品・不動態在庫・期限切れ等の管理運用マニュアル等が整備されており、適切な運用が見込めるか。 ○ 業務目的に適合した院外倉庫の確保は可能か。（規模・所在地等） ○ 院内スペースの拡大に資するものか。（院内在庫スペース縮減） ○ 期限切れや不良在庫について、適正かつ厳格なチェック体制が確立されているか。 ○ 預託品をはじめ、定数外・災害備蓄用倉庫の資材も含めて、在庫状況や消費状況を把握し、適正に管理することが可能であるか。 ○ リコール発生時や長期欠品発生時に適切な対応は可能か。（リコール発生時の回収作業、長期欠品発生時の後継品提案等） ○ 在庫数量の適正化を図るため、各部署の消費状況を把握・分析を行い、定数見直しに関する提言を行うことができるか。 | 30 |
| 7 供給・搬送 業務に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 診療材料等に関するバーコードラベル管理（IDカード、医事シール）の方法は適当か。また、バーコードラベル管理は可能な限り最小ロット単位で行われているか。 ○ カード（ラベル）等を紛失した場合の対応策は十分か。 ○ 搬送に遅れや誤り等が生じないよう、対策が講じられているか。（体制構築、人員配置、作業員の研修・教育等） | 10 |
| 8 情報管理・ 分析業務に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 診療材料等に関する情報について、既存のシステム（電子カルテ、物流、医事会計、原価計算等）と連携可能か。 ○ 収益向上、材料費削減等に資する、診療材料等に関する情報の管理及び分析が可能か。 | 10 |
| 9 緊急時対応 業務に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時の緊急対応マニュアルを作成し、可能な限り物品供給が滞らない体制となっているか。 ○ 各県立病院が被災地となった場合の支援体制が明確に記載されているか。 | 20 |
| 合計 | | 200 |